

派遣報告書（報告者；佐田明美）

大会名	令和6年度第55回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会
開催地	シーハットおおむら（長崎県大村市）
日時	令和7年2月14日（金）～2月16日（日）
担当ゲーム1	（Aパート女子2回戦） 慶誠高校（熊本県1位） v s 鳳凰高校（鹿児島県2位）
クルー	CC：佐田明美 U1：下田大輔氏（長崎B級） U2：奥村麻美氏（宮崎B級）
（担当ゲーム1）Pre-Game Conference	
・ベーシックなメカニクスを実践することで、オビアスな現象を判定につなげていく。 ・ベンチとのコミュニケーションが必要な場面が出てくるが、両チームとも公平に。 ・留学生に対する体の寄せやダブルチーム、リバウンドの場面から3人の誰かが必ず見ておく。	
（担当ゲーム1）Post-Game Conference	
・CC以外のクルーは2試合目の担当であったが、1試合目より思い切って試合に臨むことができていた。 ・ファウルを宣してもやめないプレイに対して、審判としては最後まで一貫して判定し続けた。 ・ファウルが多いゲームであったが、試合が間延びした感じはなかった。TOやチームの協力、クルーのスムーズなゲーム運営があったからだと思う。 ・24秒が成立するかしないかの場面があったが、プレイを把握している審判が判断していた。現場で判断したことはよかったと思う。 ・リードプライマリーの場面で判定できなかった理由について、プレイに近づきすぎていなかったか。 ・プライマリーが見ているのに、無理して吹きにいかなくても良かった場面があったのではないかな。	

担当ゲーム2	（Aパート女子準決勝） 精華女子高校（福岡県2位） v s 慶誠高校（熊本県1位）
クルー	CC：比嘉涼太氏（沖縄A級） U1：佐田明美 U2：梅崎信久氏（長崎B級）
（担当ゲーム2）Pre-Game Conference	
・クルーが吹いた現象をブックマークしておく。同じように吹いていく。 ・互いのチームの留学生に対する守り方、寄せていく場面やダブルチームでファウルがあった場合は逃さない。 ・判定はできて当たり前。そのうえで、スムーズに進行するために、アイコンタクトを取っていく。 ・エッジのプレイは基本的にリード。エンドラインの00Bは、センターレフリーの協力が必要な場面。 ・コーチとのコミュニケーションの取り方。一方だけにならないように、両チームに公平に。	
（担当ゲーム2）Post-Game Conference（IR：荒木晋之（福岡A級））	
・前半、ファウル少なく、ナチュラルインターバルの時間が長かったが、無理して吹くことなく、ゲームがスムーズであった。 ・ハーフタイムに檄を入れているつもりなので、コーチの口調が強くなっていた。暴言というわけではないが、ひと言声をかけておいた方が良かった。 ・終盤、負けているチームが激しくDFを仕掛けた場面。シンプルにコールをした方が良い。やられている方が不利になる。 ・留学生同士のマッチアップでファウルが起こった場面は、もう少し待って、シュートまで行かせても良かったかもしれない。	

今大会に参加しての感想など	
この大会は各県からベスト4まで出場できる大会なので、派遣審判員もA級だけでなく、B級の方も非常に多く来られていました。また、長崎県のC級高校生が2名、Bパートでの割当をもらっており、九州大会デビューを果たしていて、意識の高さを感じました。 講師としてT級IRの黒岡さんも来てくださり、男子のゲームをモデルゲームとして、ポストゲームカンファレンス、映像を利用してのゲーム分析の仕方を見せていただきました。 私自身は、先週の全日本社会人に引き続き、自分が疑問に思っていることを質問させていただき、非常にありがたく、理解と実践につなげるいい機会となりました。 2日間割り当てをいただきましたが、当たり前でなく、自分でコートに立ったり、研修で質問したり、IRをさせていただくことによって、新たな気づきや改めてルールの確認をすることができ、実りのある大会となりました。 県外の大会に派遣していただき、今回も高校生TOのレベルの高さ、C級に3POを体得してもらいコー	

トに立たせている長崎県審判委員会の指導の在り方、今年度で定年により上級を引退される先輩方のレフリングや立ち居振る舞い、福岡ブロック長の企画力・指導力、長崎県協会の皆さんの運営に対する協力体制など、感銘を受けることばかりでした。

自分もライセンスに驕らず、研鑽を積んでいきたいと思えます。

派遣していただいた大分県協会及び審判委員会の皆さま、福岡ブロック長、ご指導いただいた黒岡 T 級インストラクター、松本インストラクター長、長崎県の寺田審判長、長崎県審判委員の皆様、運営に携わっていただいた皆様に感謝申し上げ、報告いたします。